

1-4 資本主義経済の発展と民主主義の展開 <標準編>

資本主義の 歴史的背景

市民革命によって絶対王政を倒し政治的自由を獲得した人々の中核にいたのは「ブルジョワ」と呼ばれる資本家たちであった。彼らは、18世紀半ばにイギリスで起こった産業革命がもたらした蒸気機関などの新しい技術を活かして、各地に機械化された工場をつくるようになった。また蒸気を動力とする新技術は、それまでの動力の主流であった水力や風力に恵まれない地域での工場建設を可能にし都市化がうながされた。さらに農村から都市へ多数の人々が移動し、資本家が多数の工場労働者（「プロレタリアート」）を安く雇用できるようになったので、機械化された工場での大量生産はますます活発におこなわれるようになった。こうして「資本主義経済」は19世紀に確立したのである【①】。

資本主義経済では、より多くの利潤獲得を目標として資本家が企業（会社）を経営し、自由に労働者を雇って働かせながらさまざまな商品を大量に生産し販売する。その結果、資本家は多くの利潤を獲得すると同時に、社会も豊かになっていく。この資本主義経済の長所に注目してこれを正当化した人物がイギリスの経済学者アダム・スミスである。彼は主著『国富論』で「人々が自分の利益をもとめて自由に行動しているにもかかわらず、神の見えざる手によって社会も豊かになる」と述べて、資本主義経済における経済活動の自由を最大限に尊重した。

階層格差の 拡大

資本主義経済の中心となる企業は、さまざまな商品を生産するが、その究極の目的は利潤獲得である。そのため、たとえば利益が見込める事業には巨額の資金が投じられる一方で、赤字ローカル線のように利潤獲得が見込めない事業は早々に中止・撤退するという傾向をもつことになる。

企業は、生産にかかる費用（コスト）を下げ、他方で生産品の売上額を伸ばすことによって、費用と売上の差額である利潤を最大限にしようと努力する。そのため企業は、労働者をなるべく安い賃金で長時間働かせようとする傾向をもつことになる。こうして19～20世紀の資本主義国では、資本家と労働者という2つの階層の格差はますます広がっていった。しかし当時の社会は、人間らしい生活ができないほど貧しくなった労働者に対して根本的な対策をほとんどとらなかった。

コメント [Tt1]: 2007年度教科書『現代社会』（東書・現社 001）、p 76

①株式会社の制度もこのころ成立した（株式会社のしくみについては「7-7標準編」を参照）。

帝国主義と 世界大戦

また 19～20 世紀の欧米各国は、利潤を獲得するために**植民地**を大いに利用した。植民地にされた地域は経済的には発展途上であったため、価格の安い原料・資源や安い賃金で働く労働者を大量に確保できただけでなく、機械化された工場で大産された商品を高く売りさばくうえでも重要な市場となり、各国は競って植民地の獲得に乗り出した。このように経済発展のために植民地を不可欠とするようになった 19 世紀ごろの資本主義国の行動を特に「**帝国主義**」と呼ぶ【②】。

20 世紀前半に相次いで起こった第一次世界大戦と第二次世界大戦は、帝国主義諸国の植民地獲得競争をもたらした世界戦争だった。

社会主義の 成立

アダム・スミスが言うように、資本主義経済には優れた面もあるが、他方で資本家が自由に経済活動を行う結果、労働者が人間として尊重されず、資本を持つ者とそうでない者の格差を広げるといふ短所をもっている。この短所に注目して資本主義経済を批判し、労働者の生活を重視する社会を作ろうと考える政治思想が 19 世紀に生まれた。これが**社会主義**である。

なかでもドイツの**カール・マルクス**は、1848 年に従来**社会主義**をさらに発展させた科学的**社会主義**（**共産主義**）を提唱し、世界中の労働者に向かって、「革命を起こして労働者が中心となる国家を樹立し、共産主義経済の社会を建設する」よう呼びかけた。この運動に呼応して、1917 年にロシアで革命が起こり、**ソ連**（ソビエト社会主義共和国連邦）が成立した。

社会主義の広がりに対して、資本主義国の資本家たちは、社会主義・共産主義の思想が国内に広がることを恐れ、社会主義・共産主義に関心をもつ労働者たちを敵視するようになった。そして政府もまた、資本家たちの意向に沿って、労働者たちの運動を犯罪として取り締まった【③】。

資本主義経済の 修正

第二次世界大戦の勃発は、資本主義国自身にとっても憂慮すべきことだった。アメリカの経済学者**ケインズ**は、第二次世界大戦の原因となった大規模な不景気（世界恐慌）を克服するために、政府が積極的に民間経済に介入し、公共事業を実施することによって失業者を雇用する政策【④】を提案し、資本主義経済のあり方を修正する考えを発表した。ケインズの考えに基づいて生まれた、企業活動の自由を規制する新しいタイプの資本主義経済を「**修正資本主義経済**」と呼ぶ。

②明治維新以後の日本の外交が帝国主義である。日本は日清戦争・日露戦争によって台湾・朝鮮・樺太などを植民地にした。

③例えば日本では、治安警察法の制定（1910 年）や治安維持法の制定（1925 年）がそれに当たる。

④その実例としてテネシー溪谷の開発事業が有名である。